

NMC News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 広報誌

No.129

2026年3月号

TAKE FREE

ご自由にお取り下さい

【黒川・御用水の松】

松並木は第二次大戦末期に航空燃料となる松根油を取るために多くが伐採され、今では黒川左岸の僅かに残る老松のみとなっている。

写真：御用水跡街園=黒川(堀川)の夫婦橋から猿投橋までの左岸、約1.6kmを整備して設けられた／名古屋市北区

巻頭言

名古屋医療センター QMS-H元年 副院長 永井宏和

2p

ドクターよもやま話

乳がん治療におけるオンコタイプDx検査の役割 乳腺外科医長・プレストセンター 副センター長 林 孝子

3p

職場紹介

企画課 (医事) / 外来2階

4p

トピックス

2025年度 治験・臨床研究 院長表彰

5p

医療最前線

ドラッグラグとドラッグロス 臨床研究センター 研究開発推進室長 関水匡大

6p

連携医療機関紹介

エスエル医療グループ さかもと内科腎クリニック

7p

発行責任者：広報委員長 近藤隆久

電話番号：TEL.052-951-1111(代表) FAX.052-951-0664

発行日：令和8年3月1日

発行所：〒460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1

名古屋医療センターホームページ：<https://nagoya.hosp.go.jp/>



巻頭言



永井宏和
副院長

名古屋医療センター QMS-H元年

名古屋医療センターでは、質の良い医療を継続的に患者さんに届けられるよう日々努めています。この医療の質を保ち向上させることが大事です。

例えば、スーパードクターがいても質向上が図れるわけではありません。病院全体としてシステムで品質をマネージすることが必要となります。

病院の品質保証のため、当院も病院機能評価 ver.3.0の認定を受けていますが、それに加え病院の品質マネジメントシステム (QMS-H: Quality Management System for Healthcare) 活動の取り組みを始めました。QMSという馴染みのない方も多いと思いますが、製造業などの産業では広く行われているものです。QMS-Hはその病院版です。我々の医療行為や病院のシステムを継続的に改善していくことが重要であり、それが患者さんの満足につながっていくことを目標とします。病院としてのビジョンを定め、患者さん中心で良質な医療を安全に届けるには、最適なツールだと考えています。

この活動は院長のリーダーシップのもと、病院職員全員参加を基本として行っていますが、品質改善の文化が醸成されるのだと期待しています。

自分たちが取り組んできたQMS-Hを外部から評価していただくのがISO9001です。ISOは国際標準化機構の略称です。そのなかでISO9001は品質マネジメントに関わるもので、病院でも認定を受けている施設が増えてきました。患者さんの満足度、診療などの業務のプロセス、文書管理など病院全体の活動の審査となります。私たちがどのようなプロセスで医療を行っているか、実際に継続的な改善結果が得られているかなども評価頂くこととなります。QMS-Hに取り組むからには、ISO9001の認定取得を近い将来に実現したいと考えています。

これら活動により、当院の医療の質の更なる向上を目指します。またの機会にISO9001受審結果が報告できるよう頑張っていきたいと思っています。



当院QMS-Hの
ロゴマークです

ドクター よもやま話



林 孝子

乳腺外科医長
ブレストセンター 副センター長

乳がん治療におけるオンコタイプDx検査の役割

乳がんは、早期に発見されれば治癒が期待できる疾患である一方、治療方針の選択に悩む場面も少なくありません。特に、手術後に抗がん剤治療を追加すべきかどうかは、患者さんにとっても医療者にとっても大きな判断となります。そのような場面で治療方針の決定を支援してくれる検査として、オンコタイプDx検査があります。オンコタイプDxは、手術で切除された腫瘍組織を用いて21遺伝子の発現を解析し、再発スコア（Recurrence Score: RS）として数値化する検査です。このスコアにより、再発の可能性だけでなく、化学療法による上乗せ効果が期待できるかどうかを推定することができます。なお、遺伝子検査というと体質や遺伝への影響を心配される患者さんいますが、本検査は腫瘍そのものを調べるものであり、その点も説明が必要です。

これまで、再発予防のために抗がん剤治療が幅広く行われてきましたが、すべての患者さんに同じ効果が得られるわけではありません。オンコタイプDx検査を活用することで、RSが低く抗がん剤の上乗せ効果が低い患者さんでは、内分泌療法のみで十分な効果を期待でき、化学療法を省略することで不要な副作用や生活への影響を避けることとなります。一方でRSが高い場合には抗がん剤の効果が期待でき化学療法を行う意義が明確になります。

先生方に知っておいていただきたいポイントとして、オンコタイプDx検査は術後の病理標本を用いて行われ、結果がでるまでに一定の時間を要することが挙げられます。また、患者さんから「抗がん剤は本当に必要なのでしょうか」と相談を受けることもあるかと思います。その際には、「再発のリスクを数値で評価する検査であり、その結果をもとに専門医が治療を考えています」とお伝えいただくだけでも、患者さんの安心につながります。

オンコタイプDx検査は、不要な化学療法を減らし、本当に必要な患者さんに適切な治療を届けることを目的とした検査です。乳がん治療が個別化へと進む中で、今後も重要な役割を担っていく検査といえるでしょう。



企画課（医事）

企画課（医事）は、主に病院の経営や診療に関する事務的な業務を担当する部署です。

病院の経営に関する業務としては、当院の年度計画の策定、各種経営指標の分析、経営改善の企画立案を行っています。診療に関する業務としては、患者さんの受付・診療費の算定、診療報酬明細書（レセプト）の作成・請求、施設基準の届出、難病等の指定に関する事務手続きなど、幅広く業務を行っています。

また、企画課（医事）には、診療情報管理士も在籍しています。診療情報管理士は、電子カルテから得られる診療情報を国際疾病分類（ICD10）等に基づいて分析、収集及び管理を行うとともに、診療から得られるデータベースを基に、院内の医療者のニーズに沿った診療情報を提供する役割も担っています。

今後も院内の各診療科、看護部をはじめとした各部門との情報共有と連携を図りながら、患者さんへの診療のサポート及び地域の医療機関様との連携のサポートを行っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



外来 2 階

外来2階では、内科系診療科、脳神経外科、精神科、禁煙外来など多岐にわたる診療と内視鏡検査、外来化学療法を行っています。患者様の日常生活に寄り添い、地域の病院との連携を大切にし、患者様のご自宅で安心して療養生活を過ごせるように支援しています。外来化学療法室では、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・心理療法士などが連携し、副作用を軽減できるようケア方法を患者さんと一緒に考え、実践しています。また、患者さんの生活リズムや普段の暮らしを大切にしながら、安心して治療に取り組めるよう支援しています。さらに、体調の変化や不安がある際は、各診療科外来や救急外来を通じて、24時間対応できる体制を整えています。

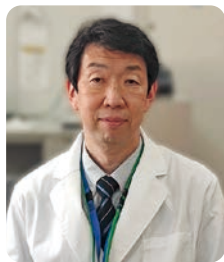


救急外来受診後のフォローアップとして、より専門的な診療に繋げています。日々、多くの患者様と接する中で、適切な看護を提供できるよう努めています。スタッフ一人ひとりが、日々患者様と向き合えるよう努めています。



2025年度 治験・臨床研究 院長表彰

December 24, 2025 会場 名古屋医療センター 応接室



臨床研究センター長

近藤 隆久

2025年12月24日、「2025年度 治験・臨床研究 院長表彰」授与式を執り行いました。

本表彰は、2024年4月から2025年3月までの期間において、治験および特定臨床研究の推進に多大な貢献を果たした医師・部署を称えるものです。

多忙な臨床業務と並行しての熱意ある取り組みは、医療の発展と当院の研究推進に不可欠なものであり、皆様の多大なるご尽力に深く敬意を表します。

今年度の治験部門では、最多症例登録・同意取得賞に感染症内科の横幕能行先生、新人賞には腫瘍内科の伊藤拓未先生が選出されました。

また、臨床研究（介入研究）部門におきましては、最多同意取得賞を血液内科の鈴木康裕先生と脳神経外科の倉光俊一郎先生が、新人賞を脳神経外科の杉山祐先生が受賞されました。

さらに特別功労部門として、CRC特別賞は皮膚科の藤城里香先生ならびに放射線科・救命救急センター・感染症内科へ、治験事務局特別賞は消化器内科の浦田登先生へ、臨床研究事務局特別賞は看護部へとそれぞれ授与いたしました。

当院は今後も全職員が一丸となり、倫理的かつ科学的な研究活動を通じて次世代の医療創出に貢献してまいります。

2025年 院長表彰 受賞者一覧



★症例登録 治験部門

最多症例登録・同意取得賞 感染症内科 横幕 能行 先生
最多症例登録新人賞 腫瘍内科 伊藤 拓未 先生

★症例登録 臨床研究(介入研究)部門

最多同意取得賞(1位タイ) 血液内科 鈴木 康裕 先生 脳神経外科 倉光 俊一郎 先生
最多症例登録新人賞 脳神経外科 杉山 祐 先生

★特別功労部門

CRC特別賞 皮膚科 藤城 里香 先生 放射線科
救命救急センター 感染症内科
治験事務局特別賞 消化器内科 浦田 登 先生
臨床研究事務局特別賞 看護部

医療最前線



関水 匡大

臨床研究センター
研究開発推進室長

ドラッグラグとドラッグロス

日本の医療現場においては「海外では標準的に使われている最新の薬が、日本では使えない」という深刻な問題が起きています。これをドラッグラグおよびドラッグロスと呼びます。

1. ドラッグラグ（承認の遅れ）

日本では原則として、医薬品医療機器等法（薬機法）で承認された効能・効果（薬の対象となる病気や症状）、用法・用量（薬の使い方と量）に従って医師が処方した薬剤が公的医療保険の対象となります。

ドラッグラグとは、海外で既に承認され、患者さんに使用されている新薬が、日本国内で承認されて公的医療保険が適用されるまでに数年の時間がかかる「時間的な遅れ」を指します。

日本で新薬を販売するためには、厳しい審査（薬事承認）をクリアする必要がありますが、海外との規制の違いや、日本人を対象とした追加の臨床試験（治験）が必要になることなどが、この遅れの原因となります。

2. ドラッグロス（開発の未着手）

より深刻なのがドラッグロスです。これは、製薬企業が日本市場での利益が見込めない、あるいは開発コストが高すぎると判断し、日本での承認申請を目指した開発が計画されない現象を指します。また、最近では新薬開発の主体が欧米のベンチャー企業へシフトしており、最初から日本市場がターゲットから外されていることがあります。

かつては「遅れてでも届く（ラグ）」状況でしたが、現在は「そもそも日本市場が無視され、薬が届かない（ロス）」状況が生じています。特に、患者さんの数が少ない希少疾患や小児の疾患などの分野でこの傾向が強く、世界標準の治療が日本では提供されない事態を招いています。

なぜこれが問題なのか

患者さんにとっては、治療薬があるのに治療を諦める選択を迫られることを意味します。適応外薬（国内で承認済みの医薬品を、承認された効能・効果、用法・用量とは異なる目的・方

法で使用する）の場合は自由診療で使用することは可能ですが、価格の高い新薬を公的保険を使わずに使うことは著しい経済的負担を伴います。

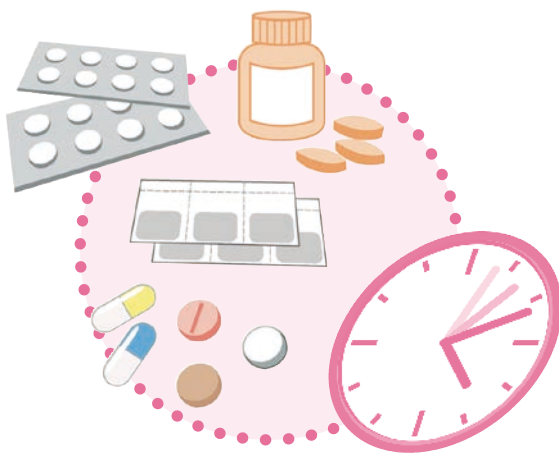
国の最新の対策：

ドラッグロス解消のために

これまでの「ドラッグラグ」対策に加え、現在は「ドラッグロス」を阻止するための施策が強化されています。

- 国際共同治験への早期参画の促進：日本が開発の輪から取り残されないよう、日本人での追加の臨床試験の必要性を見直したり、海外と同時に治験を開始できる環境整備を進めています。
- 「先駆的医薬品指定制度」などの活用：画期的な新薬を日本で世界に先駆けて、または同時に実用化することを目指す場合に、優先審査（薬の審査期間が短縮される）や薬価上の優遇措置を与えています。
- 薬価制度の見直し：製薬企業が日本での開発を断念する一因となっていた「低い薬価」を見直し、特に希少疾患や小児向けの医薬品について、開発コストを適切に回収できるように加算制度の拡充が議論されています。

こうした対策が実を結び、ドラッグラグとドラッグロスの問題が早期に解消されることが期待されています。



連携医療機関紹介



エスエル医療グループ さかもと内科腎クリニック



院長
坂本いずみ



【外観】

【エスエル医療グループとは】

名古屋の中心街「栄」にあり、40年以上の歴史をもつ医療グループです。駅から徒歩2分、9階建てのビルの中に35の専門クリニックが集まっています。

それぞれのクリニック院長はその分野のスペシャリストで、症状や疾患に合わせて診察を依頼することができるグループ診療を行っています。

当院の特徴

地域の中核病院や大学病院で急性期治療や透析、腎臓病の研究などに携わったのち、この経験を地域の患者さんの治療に活かしたいと考え、2020年1月にエスエル医療グループの腎臓内科として開業しました。

腎臓病は初期には自覚症状がないことが多く、健診で指摘された蛋白尿・腎機能異常や、かかりつけの先生から腎臓専門医の受診を勧められて、当院を初めて受診される方が多くいらっしゃいます。

腎臓内科では、むくみや蛋白尿で発症する腎炎・ネフローゼ、急性腎障害（AKI）、慢性腎臓病（CKD）一部の膠原病や高尿酸血症（痛風）などの診療をしています。高血圧・糖尿病・高脂血症・慢性心不全は、腎機能低下の進行を速めるので、生活習慣病についてもきめ細やかな治療を心がけています。

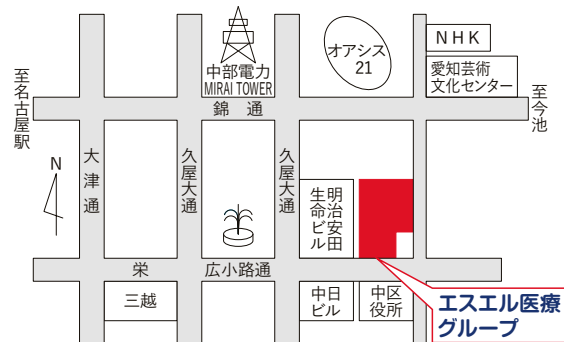
腎障害の原因によって治療が異なりますので、初診時には患者さんの病歴、過去の検査のデータ、生活スタイルや食生活なども詳しくお聞きし、必要な検査を行います。CKDについては新しい治療薬もいろいろ開発されていますので、患者さんと相談しながら、できるだけ腎臓を長持ちさせるような治療を行います。

腎生検などの大きな検査や入院治療が必要な場合には、迅速に名古屋医療センターの腎臓内

科や泌尿器科の先生方と連携をとりご紹介をさせていただきます。

また当院では、腎臓病に詳しい管理栄養士による栄養指導も行っています。

腎臓のことで気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。



◆地下鉄栄駅5番出口

エスエル医療グループ さかもと内科腎クリニック

院長：坂本いずみ

所在地：〒460-0004

名古屋市中区新栄町1-3 日丸名古屋ビル6F

電話：052-961-2061

診療科目：内科・腎臓内科・老年内科・リウマチ科

URL：https://sakamoto-naikajin.jp

診療時間：

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○*	○	○
14:00~15:30	○	○	○	/	○	/

*初診の患者様は完全予約制となっております。電話にてお問い合わせください。

休診：日曜・祝日・木/土曜午後、第1.3.5木曜
夏季休暇、年末年始

外来診療担当表

令和8年3月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内 科 (2階)	受付A	消化器内科	1診 近藤高	村山	島田	浦田	交代制(再診)
		2診 交代制(再診)	柴田	近藤高	交代制(初診)	宇仁田	
		3診 交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	田中(2・4週)	交代制(初診)	
		4診	—	—	馬場	—	今枝
	呼吸器内科	5診	渡辺	沖	篠原(午前) 鳥居厚 (第2・4週 午後)	石井 (初診)	沖
		6診	鳥居厚	小暮啓 (1・3・5週 初診) 渡辺 (2・4週 初診)	小暮啓	北川	小暮啓
		7診	沖 (1・3・5週 初診) 今枝 (2・4週 初診)	大濱(午前) 篠原(午後)	若原(初診)	佐野	大濱 (1・3・5週 初診) 鳥居厚 (2・4週 初診)
		8診	—	—	—	—	—
受付B	循環器内科	8診	—	—	ペースメーカー(2・4週)	—	
		9診	近藤隆	交代制	交代制	近藤隆	交代制
		10診	今井	交代制	山下	近藤正	宮原
	糖尿病・ 内分泌内科	11診	交代制	早川	山田高	山田高	交代制
		12診	—	—	—	フットケア(2週 午後)	—
受付C	膠原病内科 リウマチ科	13診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
		14診	丹羽麻(1・3・5週)	交代制	田實	田實	杉浦
	腎臓内科	15診	杉浦	山田努	山家	山田努	山家
		12診	杉山	—	—	—	梅村(再診)
受付D	脳神経内科	17診	高野 (初診)	高野 (予約のみ)	梅村(午前) 平野(午後)	鈴木	鈴木(午前) 小嶋(午後)
		18診	小嶋 (午前・午後)	鈴木 (午前 初診)	高野	小嶋 (午前 初診)	長谷川
	腎臓内科	19診	—	—	水谷	—	水谷 (午前 初診/午後 再診)
		12診	—	—	齊藤	—	—
血液内科 (3階)	腫瘍内科(2階) (化学療法室)	18診	—	—	齊藤	—	
		19診	山森	高見	—	井口	—
	禁煙外来(2階)	20診	二上	両角	小谷	原田	榊原
		21診	小林 (監査・かんセンター)	—	小林 (監査・かんセンター)	菅原(もの忘れ外来 (連携予約のみ))	—
緩和ケア内科 (2階)	22診	両角(初診)	榊原(初診)	二上(初診)	小谷(初診)	原田(初診)	
	24診	交代制	—	交代制	岡田	交代制	
血液内科 (3階)	2診	永井	足立	永井	飯田	足立	
	3診	飯田	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸	
	LTFU	飯田(1週)	飯田(2週)	—	飯田(3週)	—	

診療科		月	火	水	木	金		
整形外科 (1階)	1階	1診	家崎	下村	杉山	武藤	長嶺	
		2診	長嶺	杉山(午前)	家崎(午前)	—	下村(午前)	
		3診	佐藤智 (人工関節)	浅井 (リウマチ)	佐藤智 (リウマチ)	生田 (人工関節)	生田 (リウマチ)	
		4診	武藤	中島 (リウマチ 午前) 小嶋 (リウマチ 午後)	小嶋 (リウマチ)	浅井 (人工関節)	小嶋 (リウマチ)	
皮膚科 (3階)	1階	1診	藤城	後藤	藤城	藤城	守田	
		2診	竹原	池谷	竹原	大野	池谷	
		3診	成田	守田	植田	成田	後藤	
		4診	—	—	—	—	植田	
小児科 (3階)	午前	1診	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (血液・腫瘍)	市川 (血液・腫瘍)	関水 (血液・腫瘍)	
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	—	—	—	
		4診	二村 (一般 初診)	島田 (一般 初診)	島田 (一般 初診)	梅原 (一般 初診)	田中 (一般 初診)	
	午後	1診	木村 (内分泌)月1回 後藤雅 (予防接種)	後藤雅 (予防接種)	—	後藤雅 (予防接種)	金子 (小児科)月1回 後藤雅 (予防接種)	
		2診	堀部 (長期フォロー) 高橋 (カウンセリング)	竹中 (神経)	田中 (アレルギー)	二村 (アレルギー)	梅原/後藤雅 (乳児健診)	
		3診	前田 (長期フォロー)	—	—	前田 (長期フォロー)	高橋 (カウンセリング)	
		4診	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)	
遺伝 診療科 (2階)	特別診察	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合		
	看護外来	服部浩・ 田口・河合	—	—	服部浩・ 田口・河合	—		
耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階)	めまい・耳鳴り・難聴	1診(初診)	加藤健・大西	寺西・大西	竹内・神本	中田	加藤健	
		2診	森永・神本	森永	中田(1・3・5週) 加藤健(2・4週)	加藤健	中田	
		3診	寺西	竹内・神本	森永	竹内・大西	大西・寺西 (1・3・5週) 森永・大西 (2・4週)	
		4診	—	中田(めまい) 加藤健(耳鳴・難聴)	—	横井 (再診13:30-15:30)	—	
眼科 (3階)	手術日	1診(初診)	南沢 (1・3・5週) 近澤(2・4週)	河合 (1・3・5週) 近澤(2・4週)	中村 (1・3・5週) 河合(2・4週)	岡戸 (1・3・5週) 平野(2・4週)	—	
		2診	河合	平野	岡戸	中村	—	
		3診	—	—	—	—	—	
		4診	—	廣瀬	南沢	廣瀬	—	
		5診	服部友(1・3・5週) 鳥居良(午後)	服部友	鳥居良	近澤	—	
		6診	吉田統	—	久保田	久保田	—	
産婦人科 (3階)	3階	1診	中西	中西	熊澤	熊澤	中西	
		2診	稲葉	熊澤	稲葉	交代制	稲葉	
泌尿器科 (3階)	3階	初診	川西	交代制	平林	交代制	吉野	
		再診	吉野	印牧(1・3・5週) 川出(2・4週)	川西	伊藤	吉澤 (初診・再診)	
		再診	岩本	—	岡村	—	平林	
専門外来 (3階)	3階	1診	笠原	小暮あ (12:00まで)	今橋真 (14:00まで)	横幕 松下(3週午後のみ) 渡辺(1週午後のみ)	横幕	
		2診	—	—	—	今(4週午前のみ)	—	
		3診	小暮あ(14:00まで)	担当医	中野(12:00まで) (1・3週) 担当医(12:00まで) (2・4・5週)	小暮あ(12:00まで)	今橋真	
歯科口腔外科 (3階)	3階	初診	上嶋	後藤	白井/小田	交代制	成田	
		再診	後藤	小田	後藤	交代制	小田	
		再診	小田	上嶋	上嶋	—	後藤	
		再診	成田	宇佐美	—	—	上嶋	
		再診	白井	成田	—	—	白井	
放射線治療科 (地下1階)	地下1階	初診・再診	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	
		診断	午前	宇佐見・ 安藤嘉	宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 宇佐見	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 安藤嘉
			午後	宇佐見・安藤嘉 大岩(午後3時~)	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉
		X線TV5 X線TV6	午前	—	—	—	—	—
			午後	—	—	—	—	—
超音波 検診	RI/PET	宇佐見	安藤嘉	宇佐見	大岩	大岩		
	超音波	大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検) 森田	遠藤・須田 (乳腺)	—		

腫瘍内科(2階) (化学療法室)	1診	白石(再診)	杉山(再診)	猪野→白石 (3/18から) (再診)	大脇(再診)	佐藤真(再診)	
	2診	—	加藤(再診)	北川(再診)	矢口(再診)	伊藤(再診)	
禁煙外来(2階)	初診	佐藤真・杉山	白石・大脇	杉山・佐藤真	白石・杉山	大脇・白石	
	特別診察室	—	当番制 (午後・予約のみ)	—	—	当番制 (午後・予約のみ)	
緩和ケア内科 (2階)	特別診察室	稲田②/ 西堀①	船橋①	船橋① 近藤理 (外科外来)	稲田②/ 西堀①	西堀①	
内視鏡室 (2階)	消化器	島田/村山/ 近藤高/ 浦田/ 宇仁田/柴田 近藤高	島田/近藤高/ 浦田/ 宇仁田/ 近藤高	村山/浦田/ 近藤高/柴田	島田/村山/ 近藤高/ 宇仁田/ 近藤高/柴田	島田/浦田/ 近藤高/ 近藤高/柴田	
	呼吸器	BF(当番制)	—	—	TBLB(当番制)	—	
精神科(2階)	再診2診	—	—	末宗	—	末宗	
脳神経外科 (2階)	2階	1診	倉光	高橋	前澤	須崎	伊藤芳
		2診	板垣	松野	江口	交代制	伊藤真
		3診	安藤遼	—	片岡	—	江口(1・3・5週) 安藤遼(2・4週)
外科 (1階)	1階	1診	宇野 (一般・消化器)	服部正 (消化器)	田嶋 (一般・消化器)	末永 (肝胆脾)	多代 (一般・肝胆脾)
		2診	村上 (心臓血管 午前) 亀井 (形成2・4週 午後)	梅村 (一般・消化器)	澤木 (乳腺)	林孝 (乳腺)	林孝 (乳腺)
		3診	羽田 (一般・消化器)	中山智 (心臓血管)	富永 (一般・消化器)	田中 (一般・消化器)	袴田 (一般・消化器)
		4診	加藤彩 (乳腺)	児玉 (末梢血管 1・3・5週 午後)	関 (呼吸器)	萩原 (心臓血管)	竹内崇 (心臓血管)
		5診	安田 (呼吸器 午前) 森田 (乳腺 午後再診)	—	近藤達・竹田 (一般・消化器)	森田 (乳腺)	加藤彩 (乳腺)
特別診察室	—	—	—	—	—		

※ストマ外来…火曜1・2・3・4週 ※末梢血管外科は完全予約制(13:30~15:30)となり、リンパ浮腫専門外です。 ※形成外科(13:30~15:30)
 ◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分~午前11時 ○再診/午前8時20分~午前11時
 ◎休日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)
 ◎担当は都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※遺伝診療科及び遺伝カウンセリングは完全予約制です。 ※カウンセリング予約枠:月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)
 ※木曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。
 ※超音波 検診 大岩・須田 大岩・須田 大岩・須田 大岩・須田 大岩・須田